

カナヘビをとおして 5 歳児

《自然との関り、生命尊重》

生命あるものは大切に丁寧に世話することで、大きく育ち、子どもを産むこともあれば、世話をしないと死んでしまうこともあります。時間をかけて関わっていくうちに命の大切さに気付き、命を支える水や餌や生態系の大切さに気付いていきます。餌となる生き物を探し、捕まえ、感謝の言葉をかけながら与える子ども達の姿が見られるようになってきました。

捕まえたカナヘビをどうするか、クラスで話し合いました。

自分たちで餌となる生き物を探すこと、観察ケースを掃除すること、大切にすることを約束して飼い始めました。“とかちゃん”と名前をつけ、餌となるクモを捕まえたり、話しかけたりするうちに、初めは怖がっていた子も触れる様になっていきました。



かわいいね〜♡

とかちゃん
食べるかなー？

あっ、近づいた！

おなか空いて
ないかなー

やった！食べたー！

とかちゃん、おはよー♡

触れる様になったよ



子ども達は夢中になって餌を食べる様子を観察し、「クモさんありがとう。」など、食べられてしまった虫の命についても考えられるようになりました。